

立教 179 年（平成 28 年）2 月 17 日

受講生各位

受講案内

- 集 合 各直属教会信者詰所で受付票を受け取り、3 月 3 日正午から 12 時 30 分までの間に受付票で指示された場所（下記宿舎いずれか）にて受付をしてください。
※3 月 3 日の昼食は用意しておりませんので、各自で済ませて集合してください。
※受付時に学生証を確認します。提示のない場合は受講できません。
- 宿 舎 第 1 2 母屋、第 3 8 母屋、敷島詰所、高安詰所、高知詰所
- 受講御供 8,000 円（詰所へ納入してください）
- 携 行 品 ・受付票 ・おふでさき ・ハッピー（ひも付き又は帯を持参） ・おつとめの扇（2 回目以上参加の学生のみ）
・にをいがけにふさわしい服装 ・ひのきしん用のズボン（男女共）
・運動靴（期間中、長時間歩くプログラムもありますので履き慣れたものを用意する）
・筆記具 ・防寒着 ・雨傘 ・洗面具
・同封の修練、選択講義記入用紙（必要事項を記入し受付時に提出）
・学生証 ・保険証（コピー可）
※おふでさき、傘を忘れた場合は購入していただきます。
※憩の家受診歴のある方は診察券を持参してください。
※薬（頭痛薬、便秘薬、生理痛薬、酔い止め、吸入薬等）を常用している方は、必ず持参してください。
※宿舎内は非常に乾燥しますので、必ずマスクを持参してください。
- 服 装 ・期間中はハッピーを着用します。
・履物は男女共、靴に限ります。（サンダル、下駄等は禁止）
- 修練・講義 別紙【修練について】、【選択講義について】を熟読し必要事項を用紙に記入の上、3 月 3 日受付時に提出してください。
※裏面も必ずご覧ください

□別席 別席を運ぶ方は、席札を持参してください。尚、初席者は所属の教会を通して事前に必要な手続きを済ませ、願書を持参してください。 ※初席者は「別席の誓いの言葉」を必ず覚えてきてください。

□解散 3月9日午前10時頃（解散場所は各宿舎）

□留意点

- ・全日程を通して受講すること。期間中の外出は認めません。
- ・予め帰途の乗車券を準備しておいてください。
- ・飲食物の持ち込みは出来ません。※期間中は禁酒
- ・20才未満の方は法律で定められている通り喫煙は出来ません。
- ・面会にあたっての差し入れは受け付けません。
- ・期間中、感染性疾患と診断された場合は自宅療養（詰所療養）を指示されています。その際、迎えの事やその後の対応については、個別に相談いたします。
- ・期間中の映像や写真は、印刷物及びインターネットを通じた広報に使用することがありますのでご了承ください。

※何らかの事情で不参加、又は受付に間に合わない場合は、必ず事前に学生担当委員会まで連絡してください。

連絡先

<2月29日まで>○学生生徒修養会事務局：0743-63-2489

<3月1日～9日>○学生生徒修養会総務（2母屋）：0743-63-2489

○各宿舎

0743-63-1511（代表）

みのり塾（12母屋）：内線4521

まこと塾（高知詰所）：内線4121

つなぎ塾（38母屋）：内線4117

いさみ塾（敷島詰所）：内線4123

よふき塾（高安詰所）：内線4119

午後5時から午前7時までの電話について

教会本部交換台の時間外になりますので、内線番号にかける場合は、お手数ですが以下の手順でおかけください。

1、0743-63-2511に電話をする。

3、上記の内線番号を入力する。

2、コール音が2、3回鳴った後に通話中の音に変わるのを待つ。

4、コール音が鳴り、目的の塾につながる。

天理市守目堂町 213-4 おやさとやかた真南棟 3階

〒632-8790 天理郵便局私書箱1号

天理教学生担当委員会

立教 179 年 2 月 15 日

受講生各位

天理教学生担当委員会

立教 179 年 学生生徒修養会 大学の部
みのり塾「月次祭まなび」におけるおつとめ着持参のお願い

この度は、「立教 179 年 学生生徒修養会 大学の部」に申込みをいただき、誠にありがとうございます。

さて、貴方が入塾するみのり塾（3 回以上参加、または 2 回目の 4 年生以上の受講生）では、5 年前より月次祭まなびを勤めています。

これまではハッピー着用で勤めてきましたが、今回の修養会ではおつとめ着を着用して月次祭まなびを勤めさせていただきます。

所属教会の会長様ともご相談いただき、おつとめ着をお持ちいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【持ち物】

男子

おつとめ着一式、白足袋 ※履き物は不要

女子

おつとめ着一式（小物も含む）、白足袋 ※履き物は不要

【選択講義について】

3月5日（期間中3日目）に選択講義を行います。

5名の講師が学生時代に抱えていた悩みや葛藤を振り返り、その経験が今の信仰にどのように繋がっているかをお話しくださいます。部屋の収容人員の関係で第3希望まで記入の上、受付時に提出してください。（必ずしも第1希望になるとは限りませんので、この旨ご了承ください。）

▽5日選択講義

講義60分+Q&A30分

1. 「教会と不思議なおたすけ ～その源は学生会だった～」

講師 茶木谷 安信 先生(大江大教会・肥之國分教会長)

親が勤めた天理高校への進学を拒否、天理教から離れようとしていた講師をつないでくれたのは、学生会活動だった。そして天理大学に進学、激動期の天理教学生会の委員長を務めた。現在、教会長として、また大学生の子供を持つ親として道の御用に勤める中、お道を信仰して本当に良かったと感じた不思議なおたすけの一端、教祖のお導きのありがたさを語る。

2. 「大丈夫、いつもおそばに教祖が」

講師 清水 このみ 先生(栗太分教会長夫人)

人生の中で幾度となく訪れる心が折れそうな節の時、そこに込められる親神様からのメッセージを読み解けば、心の向きが変わり、たすかる道へとつながる。手作りのパネルシアターなどを用いて、自らの経験談を交えながら、親心の温かさと親心に応える私達の歩み方を語る。

3. 「にをいがけ・おたすけこそ人生最高の生き方である。若者よ、いざ布教師を目指せ！」

講師 笹倉 雅浩 先生(宇仁大教会・兵庫中央分教会長)

教会で生まれ育ちながら、信仰に対して前向きになれなかった講師が、おちばでの学生生活を通して信仰に目覚め、生涯、一布教師を志す。海外でのにをいがけ等の経験を通して布教に喜びを感じ、現在は自らも布教の日々を送りながら布教の家兵庫寮（女子寮）の育成員として布教師の育成に携わっている。だれでも布教師として最高の充実感を味わえることを語る。

4. 「志の数だけ道がある ～感動にあふれる信仰をめざして～」

講師 藤野 浩 先生(北大教会・理福布教所後継者、竹中工務店勤務)

学生時代は、信仰初代の父と二代目の自らの信仰の違いに対して悩み、就職してからは、与えられた環境の中でどのように信仰と向き合えばいいのか葛藤し続けるなかで、仕事の合間に始めた神名流しやにをいがけが次第に信仰の喜びとして感じられるようになっていった体験を語る。

5. 「信仰の葛藤こそ宝物 ～世界一かつこい生き方とは～」

講師 上川 謙太郎 先生(河原町大教会・ス栄分教会長)

信仰とは何か。なぜ、信仰しなければならないのか。信仰者として、自分はこれでいいのか。学生時代、信仰に対して葛藤し続けていた講師。学生会や学修で得た仲間との出会いや、20才の時の大きな節を通して、自らの信仰信念をつかむ。男女を問わず学生に伝えたい、世界一かつこい生き方とは――。

【修練について】

3月4・5日（2・3日目）に修練を行います。（100分、95分）

下記の科目の中から選択し、必要事項を記入の上、受付時にご提出ください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 基礎コース
(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの) | 7 女鳴物（三味線）：初心者 |
| 2 てをどり前半（よろづよ八首～六下り目） | 8 女鳴物（三味線） |
| 3 てをどり後半（七下り目～十二下り目） | 9 女鳴物（胡弓）：初心者 |
| 4 男鳴物（笛） | 10 女鳴物（胡弓） |
| 5 男鳴物（小鼓） | 11 女鳴物調絃 |
| 6 女鳴物（琴） | 12 祭儀式 |

※女子は男鳴物を選択できますが、男子は女鳴物・女鳴物調絃を選択できません。

※女鳴物調絃は琴・三味線・胡弓いずれもできる方に限ります。

※琴及び女鳴物調絃を希望する方は琴の爪をご持参ください。

班

※班は受付時に
スタッフが記入

選択修練・講義記入用紙

ふりがな		性別
氏 名		男 ・ 女

選択修練

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 基礎コース(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの) | 11 女鳴物調絃 ※女子のみ、三曲できる、琴の爪 |
| 2 てをどり前半(よろづよ八首～六下り目) | 12 祭儀式 |
| 3 てをどり後半(七下り目～十二下り目) | |
| 4 男鳴物(笛) | |
| 5 男鳴物(小鼓) | |
| 6 女鳴物(琴) ※女子のみ、琴の爪 | |
| 7 女鳴物(三味線):初心者 ※女子のみ | |
| 8 女鳴物(三味線) ※女子のみ | |
| 9 女鳴物(胡弓):初心者 ※女子のみ | |
| 10 女鳴物(胡弓) ※女子のみ | |

※希望する科目(番号)を
記入して下さい。

※忘れ物など

(塾にて記入)

第1希望		
第2希望		
第3希望		

選択講義

- 「教会と不思議なおたすけ ～その源は学生会だった～」
- 「大丈夫、いつもそばに教祖が」
- 「にをいがけ・おたすけこそ人生最高の生き方である。
若者よ、いざ布教師を目指せ！」
- 「志の数だけ道がある ～感動にあふれる信仰をめざして～」
- 「信仰の葛藤こそ宝物 ～世界一カッコいい生き方とは～」

※希望する講義(番号)を
記入して下さい。

第1希望	
第2希望	

※3月3日受付時に、受付票と一緒にご提出ください。

【学生生徒修養会(大学の部)を受講されるみなさんへ】

救護係からのお願いです。期間中、みなさんにとって学修がよりよいものになるよう以下のことを必ず守ってください。

- ① マスク(1人1つ)、常備薬(頭痛薬、便秘薬、吸入薬など)を必ず持参してください。

今は体調に問題がなくても、期間中はハードスケジュールで、慣れない環境のため、誰もが体調を崩す可能性があります。常備薬を忘れて対応に困る学生さんが毎年います。自分で対応できることは事前に準備しておいてください。また、インフルエンザ流行の時期でもあるため、体調がおかしいと思えば、自分や周りを守るために、早めにマスクをしてもらいたいため、必ず持参してください。

- ② 治療できるものは学修までに済ませておきましょう。

毎年、「学修に来る前から、調子が悪くなって、ひどくなってきました。」と救護所に来る学生さんがいます。救護所には応急処置できる程度のものしかありませんので、病院で処置できるものは、学修へ来るまでに済ませておいてください。また、体調を整えて学修に臨んでもらいたいと思います。

- ③ 保険証(憩の家に限りコピー可)は必ず持参してください。

病院受診時、保険証が必要です。持参していないと、治療費は全額負担になります。「自分は大丈夫。」と思うかもしれませんが、受診になった時、困りますので必ず持参してください。また、憩の家(天理よろづ相談所病院)の受診歴のある方は、診察券を持参してください。

※保険証のコピーを用意される場合は、文字や番号がはっきり写っているものを用意してください。

受講する学生さん1人1人にとって、素晴らしい学修となるためにまずは以上のことをしっかり守って頂きたいと思います。よろしくお願いします。